



令和7年度 果樹情報 第3号

(令和7年4月24日)

果樹の開花、防霜対策と病虫害防除対策
福島県農林水産部農業振興課



1 気象概況 (4月中旬、果樹研究所)

平均気温は、3半旬が11.3℃で平年より0.6℃高く、4半旬が15.4℃で平年より3.9℃高く経過しました。

この期間の降水量は32.0mmで平年比100%と平年並でした。日照時間は、61.9時間で平年比89%と平年より少なくなりました。

2 土壌水分 (4月20日現在、果樹研究所)

4月20日時点の土壌水分(pF値：果樹研究所なしほ場：草生・無かん水)は、深さ20cmで1.9、深さ40cmで1.8となっており適湿、深さ60cmで1.6となっており、やや過湿状態です。

3 発育状況 (4月21日現在)

(1) 農業総合センター果樹研究所 (福島市飯坂町)

ア ももの満開は、「あかつき」が4月15日、「ゆうぞら」が4月16日でともに平年より4日早くなりました(表2)。

イ なしの満開は、「幸水」が4月20日で平年より5日早く、「豊水」が4月18日で平年より4日早くなりました(表2)。

ウ りんごの開花は、「ふじ」が4月20日で平年より6日早く、「つがる」が4月21日で4日早くなりました(表2)。

エ おうとう「佐藤錦」の満開は、4月21日で平年より4日早くなりました(表2)。

オ かき「平核無」の展葉は、4月17日で平年より2日早くなりました(表1)。

カ ぶどう「巨峰」の発芽は、4月18日で平年より1日遅くなりました(表1)。

(2) 農業総合センター会津地域研究所 (会津坂下町)

ア 気象庁の2週間気温予報を反映した2週間予測では、りんご「ふじ」の開花が4月29日ごろで平年より2日早いと予測されます(表4)。

イ かき「会津身不知」の発芽は、4月15日で平年より1日遅くなりました(表3)。気象庁の2週間気温予報を反映した2週間予測では、展葉は4月26日ごろで、平年より2日早いと予測されます(表4)。

表1 各樹種(品種)の発芽および展葉状況(農業総合センター果樹研究所)

樹種	品種	発芽観測日			展葉観測日		
		本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
もも	あかつき	3月24日	3月24日	3月25日	—	—	—
	ゆうぞら	3月24日	3月25日	3月28日	—	—	—
なし	幸水	3月28日	4月1日	3月31日	4月9日	4月14日	4月9日
	豊水	3月26日	3月30日	3月29日	4月7日	4月10日	4月6日
りんご	つがる	3月25日	3月26日	3月30日	4月4日	4月8日	4月6日
	ふじ	3月26日	3月27日	3月28日	4月2日	4月7日	4月4日
おうとう	佐藤錦	3月27日	3月30日	4月3日	—	—	—
かき	平核無	4月1日	4月4日	4月3日	4月17日	4月19日	4月12日
ぶどう	巨峰	4月18日	4月17日	4月13日	未	4月24日	4月21日

注) 平年は1991～2020年の平均値、かきは1995～2020年、ぶどうは1998～2020年の平均値

表2 各樹種（品種）の開花および満開状況（農業総合センター果樹研究所）

樹種	品 種	開花観測日			満開観測日		
		本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
も も	あかつき	4月9日	4月13日	4月6日	4月15日	4月19日	4月11日
	ゆうぞら	4月10日	4月14日	4月6日	4月16日	4月20日	4月11日
な し	幸 水	4月17日	4月20日	4月14日	4月20日	4月25日	4月17日
	豊 水	4月14日	4月16日	4月11日	4月18日	4月22日	4月15日
りんご	つがる	4月21日	4月25日	4月16日	未	4月30日	4月23日
	ふ じ	4月20日	4月26日	4月15日	未	4月30日	4月22日
おうとう	佐藤錦	4月16日	4月18日	4月15日	4月21日	4月25日	4月18日

注) 平年は1991～2020年の平均値

表3 各樹種（品種）の発芽および展葉状況（農業総合センター会津地域研究所）

樹種	品 種	発芽観測日			展葉観測日		
		本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
りんご	ふ じ	4月2日	4月1日	3月31日	4月10日	4月11日	4月8日
かき	会津身不知	4月15日	4月14日	4月7日	未	4月28日	4月20日

注) 平年は1991～2020年の平均値。

表4 発育予測日〔予測方法：発育速度（DVR）モデルによる発育予測〕（会津地域研究所）

	展葉日		開花日		今後の気温経過		2週間予測
	昨年	平年	昨年	平年	平年並	2℃高い 2℃低い	
ふ じ	—	—	4月22日	5月1日	5月1日	4月29日 5月3日	4月29日
会津身不知	4月20日	4月28日	—	—	4月27日	4月26日 4月29日	4月26日

注1) 展葉日および開花日の平年値は、1991～2020年の平均

注2) 2週間予測とは、2週間までは気象庁が発表している2週間気温予報を反映し、2週間以降の気温は平年値を用いた場合の予測値

4 栽培上の留意点

(1) 防霜対策

耐凍性は生育が進むにつれて低下し、開花期から幼果期にかけて最も弱く、凍霜害の危険性が高くなるので、気象情報に十分注意し、防霜対策を徹底しましょう。

最新の情報は、福島地方気象台ホームページ「2週間気温予報」や「霜と気温の見通し」を御確認ください。

「2週間気温予報」 : <https://www.data.jma.go.jp/cpd/twoweek/>

「霜と気温の見通し」 : <https://www.jma-net.go.jp/fukushima/shimo/shimo.html>

現在の果樹の生育は、ぶどうを除く各樹種ともに平年より2～6日早まっています。生育ステージごとの安全限界温度を下回る温度に遭遇するおそれがある場合には速やかに防霜対策を実施しましょう。

各樹種の生育ステージ別安全限界温度は、農業振興課ホームページの技術資料「作物別凍霜害及びひょう害技術対策（令和7年3月3日）」を参照してください。
URL <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#kisyuu>

事前対策としては、防霜資材を準備するとともに、地温の上昇を図るため下草は5cm程度に刈り込みましょう。また、空気や土壌が乾燥している場合は適宜かん水を実施し、土壌水分を確保しましょう（乾燥条件は気温の低下が著しいため）。

なお、降霜による被害が見られた場合は、被害状況を確認の上、人工受粉を徹底し結実確保を図りましょう。特に、花粉がない若しくは少ない品種においては、注意が必要です。

(2) 人工受粉

開花期が強風や乾燥、低温条件で経過すると結実が劣る場合があるため、このような条件下では人工受粉をより丁寧に行い、結実の確保対策を徹底しましょう。

人工受粉の際に、花粉を石松子などで増量する場合は事前に発芽率を確認し、発芽率に応じた希釈倍数に調整しましょう。なお、発芽率 30%以下の花粉は希釈しないでそのまま使用します。受粉期間中は、花粉をできるだけ涼しい場所（冷蔵庫が望ましい）に密封して保管し、花粉発芽率の低下を防ぎましょう。

花粉保有量が少ない場合には、表 5 を参考に花粉純度や使用量に応じて適切な受粉方法を選択しましょう。

表 5 受粉方法と特徴

方 法	花粉供給と受粉方法	花粉純度	花粉使用量
梵天	羽毛に手で花粉を付ける	粗 or 純	少
みつばち花子	受粉毛に手動ポンプで花粉を供給	粗 or 純	中
ラブタッチ	受粉毛にモーターで花粉を供給	純	中
ポーレングスター	受粉毛にモーターで花粉を供給	純	少
養液受粉	花粉混合養液をスプレーで散布	純	多

※メーカー各社情報および試験データより

5 病害虫防除上の留意点

現在の果樹の生育は、平年より 2～6 日早まっています。また、4 月中旬に複数回の降雨があり、病原孢子の飛散や病斑の発生が確認されています。今後の天候しだいでは、感染が増加するおそれがありますので、気象情報に留意し、生育に応じた計画的な防除を実施しましょう。また、耕種の防除を徹底し、発生密度の低減を図りましょう。

(1) 病害

ア リンゴ黒星病

会津地域研究所における罹病落葉からの子のう胞子の飛散は既に確認されています。本病の重要な防除時期は展葉期から落花 20 日後ごろです。昨年、本病の発生が認められた園地では、落花直後の防除は、効果の高い DMI 剤（県病害虫防除指針参照）を十分量散布して被害防止に努めましょう。

イ リンゴ褐斑病

果樹研究所における罹病落葉からの子のう胞子の初飛散が 4 月 23 日に確認されました。今後、降雨の度に胞子の飛散がしばらく続くと思われるため、例年本病の発生が多い場合には防除を徹底しましょう。

ウ モモせん孔細菌病

果樹研究所の「ゆうぞら」では、4 月 2 日に春型枝病斑の発生が確認されています。今後の天候しだいでは、感染が増加するおそれがありますので注意が必要です。

本病は、発生初期の密度抑制が重要なため、定期的には場を巡回し、伝染源である春型枝病斑の早期発見とせん除を徹底し、感染防止を図りましょう。なお、春型枝病斑のせん除は、発病部位が残らないように病斑部の周辺を含めて可能な限り基部から切り戻しましょう（図 1）。また、樹冠上部での発生を見逃さないように注意し、直下への被害拡大を防止しましょう。

薬剤防除は、落下直後に本病防除剤、落花 10 日後には IC ジンク水和剤 1,000 倍を使用し、被害防止に努めましょう。

春型枝病斑の発生は長期間にわたるため、せん除は定期的に複数回実施しましょう。

～モモせん孔細菌病の春型枝病斑の特徴と見分け方～

- 枝の表面が黒ずみ、やがて亀裂が生じて凹む
 - 新葉が赤っぽくなる
 - 新梢葉の伸びが悪い(部分的に芽が枯死している)
- などの症状がみられた場合は、春型枝病斑の可能性が高いため見つけしだいせん除しましょう！

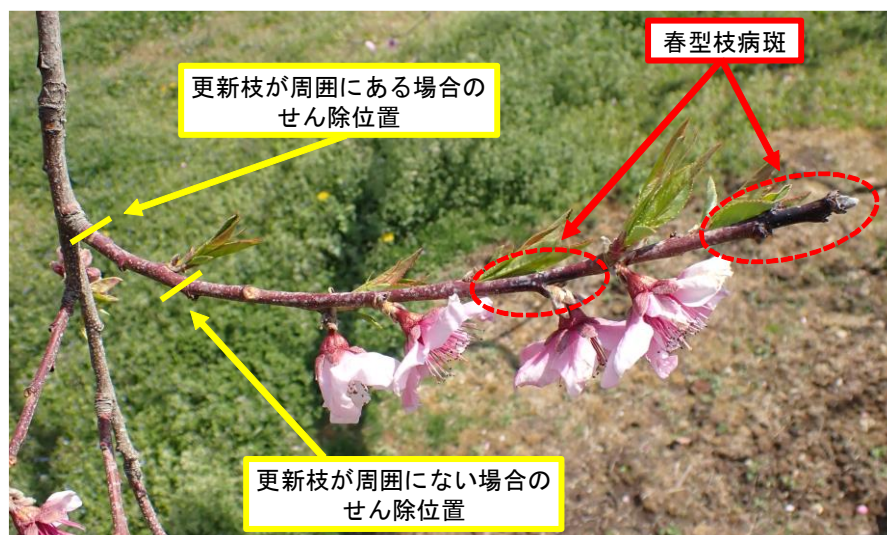


図1 春型枝病斑のせん除位置

エ モモ灰星病

花腐れは果実への伝染源となるので、早めに摘除して適切に処分しましょう。

オ モモうどんこ病

例年本病（「毛じヤケ」を含む）の発生が多い場合には、落花 10 日後ごろにトリフミン水和剤 1,500 倍を使用しましょう。

カ ナシ黒星病

本病の重要な防除時期は開花期前後です。薬剤防除は、落花直後に効果の高いDMI 剤（県病害虫防除指針参照）を十分量散布しましょう。

花そう基部に発病している場合は、りん片が脱落せずに付着しているため、見つけ次第除去して適切に処分しましょう（図2）。

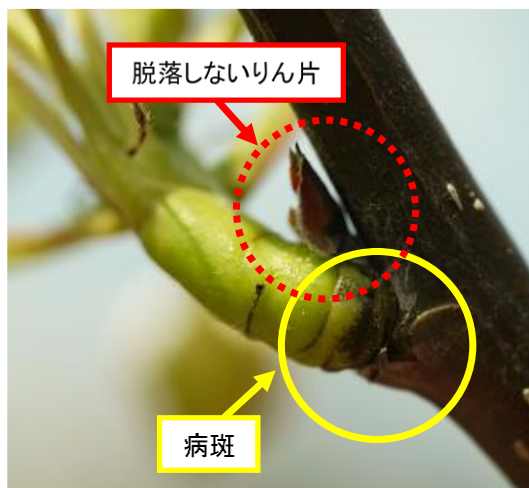


図2 ナシ黒星病の花（果）そう基部（芽基部）病斑の発見の目安

(2) 虫害

ア モモハモグリガ

病虫害防除所にて令和7年3月31日に発表した防除情報では、越冬世代の発生が平年よりもやや多くなることが予想されており、4月21日のフェロモントラップ調査では、越冬世代の誘殺が多い地域が確認されています。越冬世代成虫の誘殺盛期は今後の気温が平年より2℃高く推移した場合、4月4半旬頃と予想され、第1世代幼虫の防除適期は4月5半旬頃と推定されます(表6)。ミツバチ等を導入している園地では、巣箱回収後に速やかに防除を行いましょう。

イ ハマキムシ類

リンゴモンハマキの越冬世代誘殺盛期は、今後の気温が2℃高く推移した場合には、5月3半旬ごろと予測され、第1世代幼虫の防除適期は5月5半旬ごろと推定され、リンゴコカクモンハマキもこれに準じると考えられます(表6)。昨年、本種の発生が多かった園地や、現在、花や新葉に食害が見られる園地では、ミツバチ等の巣箱回収後、りんごでは落花直後、なしでは落花1週間後に本種に登録のある殺虫剤を使用しましょう。

また、複合交信かく乱剤はハマキムシ類の越冬世代成虫発生初期に設置することが有効であるため、遅れないように設置しましょう。

ウ リンゴハダニ

リンゴハダニ越冬卵のふ化盛期は、4月4半旬ごろと予想されます。越冬卵密度の高い園では、落花後以降の発生密度に注意し、要防除水準(1葉当たり雌成虫1頭以上)に達したら殺ダニ剤を使用しましょう。

エ シロカイガラムシ類

ウメシロカイガラムシ第1世代のふ化開始は、気温が2℃高く推移した場合、5月2半旬頃と予測され、防除適期は5月2半旬頃と推定される(表7)。クワシロカイガラムシの防除適期はウメシロカイガラムシより5～10日程度遅い。

カイガラムシ類はふ化定着初期の防除が重要であるため、防除適期を逃さないように防除する。

オ カメムシ類

越冬世代成虫による被害は幼果の段階から発生する場合があります。山間部や山沿いの園地では、カメムシ類の飛来状況をよく観察し、集団的な飛来を確認した場合には速やかに防除を行いましょう。

表6 果樹研究所における防除時期の推定(令和7年4月18日現在)

今後の気温予測	モモハモグリガ		リンゴモンハマキ		リンゴハダニ
	越冬世代 誘殺盛期	第1世代 防除適期	越冬世代 誘殺盛期	第1世代 防除適期	越冬卵 ふ化盛期
2℃高い	4月16日	4月23日	5月11日	5月25日	4月20日
平年並	4月16日	4月25日	5月18日	6月2日	4月21日
2℃低い	4月16日	4月26日	5月25日	6月10日	4月21日

起算日: 3月1日(演算方法は三角法)

表7 果樹研究所における防除時期の推定(令和7年4月18日現在)

今後の気温予測	ウメシロカイガラムシ	
	第1世代 ふ化開始	第1世代 ふ化盛期
2℃高い	5月6日	5月9日
平年並	5月13日	5月16日
2℃低い	5月23日	5月27日

起算日: 1月1日(演算方法は平均法)

～ 中国産の輸入花粉は使用できません ～

国は、中国において火傷病(かしょうびょう)が発生したことを受け、令和5年8月30日に中国からの火傷病菌の宿主となる植物(花粉等)の日本への輸入を停止しました。これにより、中国産のなし及びりんご花粉の供給が停止されます。

- 火傷病に感染した花粉や疑いのある花粉の使用により、本病に感染するおそれがありますので、万一、在庫を保有している場合でも、中国産花粉は使用を控えてください。
- 令和6年及び令和7年産の果実生産に向け、自家採取等による花粉の確保に努めてください。

病害虫の発生予察情報・防除情報

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

URL: <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行: 福島県農林水産部農業振興課 農業革新担当 TEL 024(521)7344
(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください。)

URL: <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>